

平成 23 年度

たつの市財務諸表

兵庫県たつの市

平成 24 年 2 月

I はじめに

地方公共団体の財政状況を検討する手法として、これまでの決算書等に基づくフロー情報に加え、企業会計的手法による資産や負債といったストック情報を取り入れた財務諸表の作成が全国的に進められています。

たつの市においても、合併により旧市町から引き継いだ多くの公共資産を保有しており、これまでに蓄積された資産の適切な維持修繕や、計画的な改築による長寿命化対策などを通じて最大限有効活用するとともに、維持管理・更新コストの低減を図ることが重要になってきています。

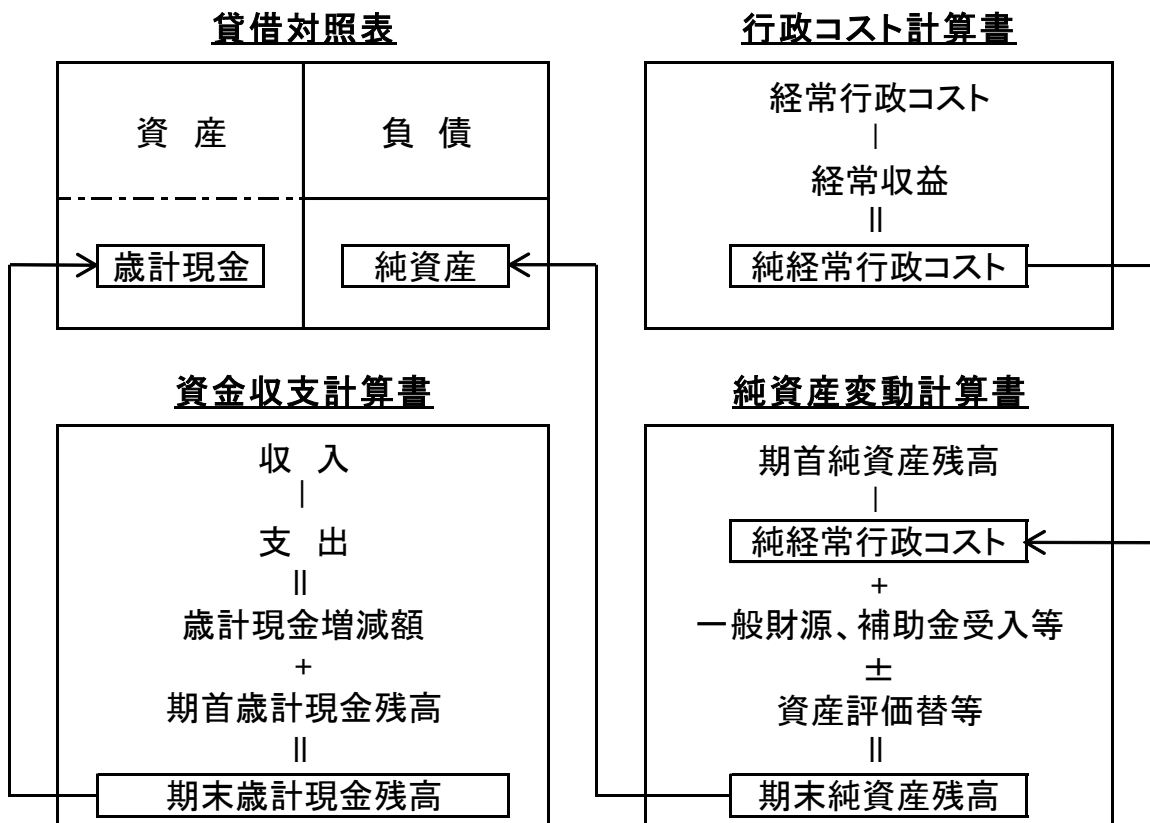
また、たつの市をはじめとする地方自治体では、受益と負担が明確なものについては普通会計とは別に特別会計を設置し、料金収入等を活用して事業を行っています。さらに、他の自治体と共同で設置している一部事務組合や地方公社・出資法人等の関係団体を通じて、様々な行政サービスを提供しています。

たつの市では、平成19年10月に総務省より示された新たな公会計モデルのうち総務省方式改定モデルに基づき、普通会計財務諸表及びたつの市と関係の深い団体も含めて一つの行政主体としてとらえた連結財務諸表を作成し、平成23年度決算について分析を行います。

II 財務諸表について

財務諸表は4つの表から構成され、4表の関係については下記のとおりとなっています。

◇相 関 図



Ⅲ 対象となる会計の範囲について

作成対象となる会計及び連結対象法人は下記のとおりです。なお、連結対象団体のうち(財)霞城館・(株)龍野衛生公社は、経費負担割合及び負担金額が僅少なため連結対象から除外しています。また、兵庫県市町村職員退職手当組合への退職手当積立金は、普通会計で退職手当組合積立金、退職手当引当金を計上しているため連結したものとして取り扱います。

作成にあたっては、各会計の歳入歳出合計からそれぞれの会計間の繰入額等を相殺しています。また、連結に際して一部事務組合・広域連合については負担割合等に基づく比例連結とし、それ以外は全部連結としています。

| 区分 | | 会計・法人名等 | 連結対象 | | |
|----------------|---|-----------------|------|--------------|---|
| 普通会計 | | 一般会計 | ○ | | |
| | | 学校給食センター事業特別会計 | | | |
| | | 土地取得造成事業特別会計 | | | |
| | | 揖龍広域センター事業特別会計 | | | |
| | | 揖龍公平委員会事業特別会計 | | | |
| 公営事業会計 | | 国民健康保険事業特別会計 | ○ | | |
| | | 後期高齢者医療事業特別会計 | ○ | | |
| | | 介護保険事業特別会計 | ○ | | |
| 公営企業会計 | | 下水道事業特別会計 | ○ | | |
| | | 農業集落排水事業特別会計 | ○ | | |
| | | 前処理場事業特別会計 | ○ | | |
| | | と畜場事業特別会計 | ○ | | |
| | | 病院事業会計 | ○ | | |
| | | 水道事業会計 | ○ | | |
| | | 国民宿舎事業会計 | ○ | | |
| | | 一部事務組合 ・広域連合 | 連結 | 揖龍保健衛生施設事務組合 | ○ |
| | | | | 播磨高原広域事務組合 | ○ |
| | | | | にしはりま環境事務組合 | ○ |
| 西播磨水道企業団 | ○ | | | | |
| 揖龍地区農業共済事務組合 | ○ | | | | |
| 兵庫県後期高齢者医療広域連合 | ○ | | | | |
| 地方三公社 | | たつの市土地開発公社 | ○ | | |
| 第三セクター等 | | (財)童謡の里龍野文化振興財団 | ○ | | |
| | | (財)霞城館 | × | | |
| | | (株)龍野衛生公社 | × | | |
| | | たつの市みつ町観光開発(株) | ○ | | |

IV 平成23年度財務諸表の概要

1. 貸借対照表

ポイント

- ・資産総額は普通会計1,366億円、連結2,483億円
- ・負債総額は普通会計452億円(資産の33.1%)、連結1,041億円(資産の41.9%)
- ・市民1人あたり純資産(正味資産)は、前年度より普通会計2万1千円、連結3万6千円の増

(1) 貸借対照表の概要

| | (普通会計) | (連結) | | (普通会計) | (連結) |
|-----------|-----------------------|-----------------------|------------|----------------------|------------------------|
| 資産 | 1,366 億円(100%) | 2,483 億円(100%) | 負債 | 452 億円(33.1%) | 1,041 億円(41.9%) |
| | 将来世代に引き継ぐ社会資本 | | | 将来世代の負担する債務 | |
| 公共資産 | 1,176 億円(86.1%) | 2,242 億円(90.3%) | 固定負債 | 415 億円(30.4%) | 956 億円(38.5%) |
| | 債務返済の財源等 | | 流動負債 | 37 億円(2.7%) | 85 億円(3.4%) |
| 投資等 | 106 億円(7.7%) | 98 億円(4.0%) | 純資産 | 914 億円(66.9%) | 1,442 億円(58.1%) |
| 流動資産 | 84 億円(6.2%) | 143 億円(5.7%) | | これまでの世代の負担 | |

これまでに形成された資産は普通会計1,366億円・連結2,483億円あり、この資産取得のために借り入れた負債が普通会計452億円・連結1,041億円で、差引の純資産が普通会計914億円・連結1,442億円です。

つまり資産総額のうち普通会計66.9%・連結58.1%については、これまでの世代により支払済で、残りの普通会計33.1%・連結41.9%については、これからの世代が今後返済しなければならないことがわかります。

なお、普通会計・連結とも流動資産は流動負債を上回り、資金不足の危険性は低いといえます。

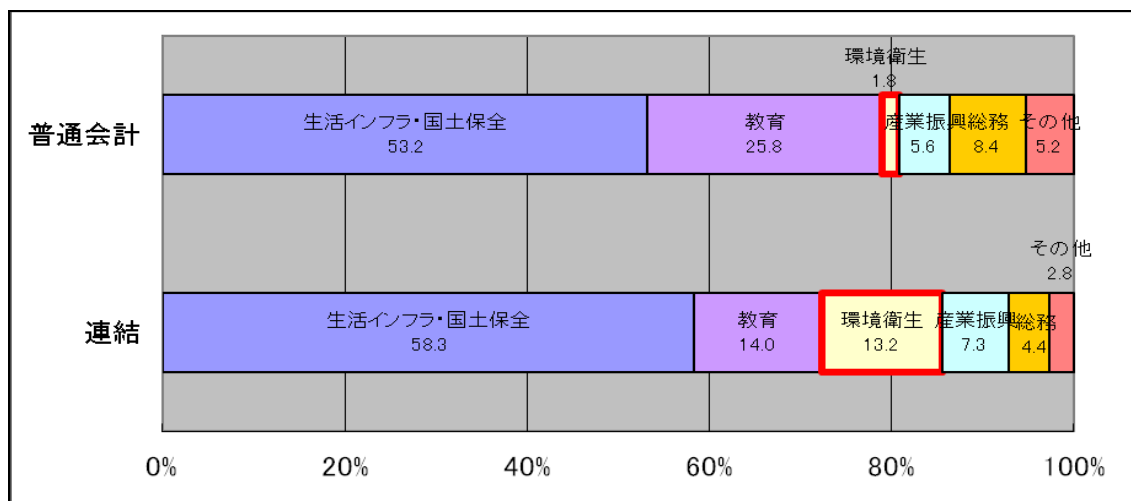
(2) 普通会計・連結比較

(単位:千円)

| | 普通会計 | | 連結 | | 連単倍率 B/A |
|------------|--------------------|--------------|--------------------|--------------|-------------|
| | A | 構成比 | B | 構成比 | |
| 資産 | 136,625,820 | 100.0 | 248,291,803 | 100.0 | 1.82 |
| 公共資産 | 117,581,372 | 86.1 | 224,196,695 | 90.3 | 1.91 |
| 有形固定資産 | 117,350,481 | 85.9 | 223,955,891 | 90.2 | 1.91 |
| 投資等 | 10,581,080 | 7.7 | 9,822,961 | 4.0 | 0.93 |
| 流動資産 | 8,463,368 | 6.2 | 14,272,147 | 5.7 | 1.69 |
| 負債 | 45,214,708 | 33.1 | 104,097,004 | 41.9 | 2.30 |
| 固定負債 | 41,485,081 | 30.4 | 95,587,654 | 38.5 | 2.30 |
| 流動負債 | 3,729,627 | 2.7 | 8,509,350 | 3.4 | 2.28 |
| 純資産 | 91,411,112 | 66.9 | 144,194,799 | 58.1 | 1.58 |

連結の資産規模は普通会計の1.82倍となっています。資産のうち公共資産が普通会計の1.91倍、負債のうち固定負債が2.30倍と割合が高くなっており、これは上・下水道事業などの企業会計は、多額の設備投資を地方債で賄い、将来の料金収入により回収して事業を実施することから資産・負債の規模が大きくなっていると考えられます。

(3) 有形固定資産の目的別割合



有形固定資産を行政目的別に見ると、普通会計、連結ともに生活インフラ・国土保全、教育の2分野に重点的に投資してきたことがわかります。また、連結で特徴的なのは環境衛生の割合が大きく増加することで、水道、病院、個別排水の資産が加わる外に、一部事務組合でごみ処理を実施しているためです。

(4) 市民1人あたりの貸借対照表

(単位:千円)

| 項目 | 普通会計 | | | 連結 | | |
|-----------|--------|--------|-----|--------|--------|-----|
| | 23年度:A | 22年度:B | A-B | 23年度:A | 22年度:B | A-B |
| 資産 | 1,702 | 1,683 | 19 | 3,093 | 3,096 | ▲3 |
| 負債(借金) | 563 | 565 | ▲2 | 1,297 | 1,336 | ▲39 |
| 純資産(支払済額) | 1,139 | 1,118 | 21 | 1,796 | 1,760 | 36 |

(H24.3.31 住基人口:80,277人)

たつの市では、新市建設計画に基づき計画的な公共資産整備を進めるなか、市の借金である市債については抑制に努めています。この結果、普通会計・連結とも前年度より負債は減少し、正味資産である純資産は市民1人あたり普通会計2万1千円・連結3万6千円増加しました。

将来世代への過度な負担の先送りは財政の硬直化の原因となるため、更なる負債の圧縮に取り組み健全な財政運営の維持に努めます。

2. 行政コスト計算書

ポイント

- ・行政コストに占める受益者負担割合は普通会計5.4%、連結34.0%
- ・市民1人あたり純経常行政コストは、22年度より普通会計9千円増、連結8千円増

(1)行政コスト計算書の概要

| 経常行政コスト | | 経常収益 | |
|---------|-------|--------|-------|
| (普通会計) | (連結) | (普通会計) | (連結) |
| 286億円 | 541億円 | 15億円 | 184億円 |

| | | | |
|---------------------------|--------------|--------------|--------------|
| 人にかかるコスト 56億円(19.5%) | 79億円(14.5%) | 経常収益 | |
| 物にかかるコスト 74億円(25.7%) | 145億円(26.9%) | 15億円(5.4%) | 184億円(34.0%) |
| 移転支的的なコスト 147億円(51.6%) | 287億円(53.1%) | 純経常行政コスト | |
| その他コスト 9億円(3.2%) | 30億円(5.5%) | 271億円(94.6%) | 357億円(66.0%) |

貸借対照表が資産とその財源である地方債などのストック情報を表すのに対し、行政コスト計算書はごみ収集や福祉サービスなど資産形成につながらない行政サービスに係る1年間のコストとその財源のフロー情報を表したものです。

行政コストの財源となる使用料などの受益者負担は、連結が34.0%なのに対し普通会計は5.4%で、普通会計では行政コストのほとんどを、市税や地方交付税などの一般財源や国県補助金などで賄っていることがわかります。

(2)普通会計・連結比較

①性質別内訳

(単位:千円)

| | 普通会計 | | 連結 | | 連単倍率 B/A |
|--------------|------------|-------|------------|-------|-------------|
| | A | 構成比 | B | 構成比 | |
| 経常行政コスト | 28,578,830 | 100.0 | 54,071,353 | 100.0 | 1.89 |
| 人にかかるコスト | 5,586,364 | 19.5 | 7,866,733 | 14.5 | 1.41 |
| 物にかかるコスト | 7,349,809 | 25.7 | 14,530,972 | 26.9 | 1.98 |
| 移転支的的なコスト | 14,739,977 | 51.6 | 28,704,159 | 53.1 | 1.95 |
| その他コスト | 902,680 | 3.2 | 2,969,489 | 5.5 | 3.29 |
| 経常収益 | 1,536,186 | 5.4 | 18,362,154 | 34.0 | 11.95 |
| (差引)純経常行政コスト | 27,042,644 | 94.6 | 35,709,199 | 66.0 | 1.32 |

性質別内訳を比べると、連結の経常収益は国保や水道などの会計で料金収入等が多いことから、普通会計の11.95倍となっています。

②目的別内訳

(単位:千円)

| | 普通会計 | | 連結 | | 連単倍率 B/A |
|----------------|-------------------|--------------|-------------------|--------------|-------------|
| | A | 構成比 | B | 構成比 | |
| 経常行政コスト | 28,578,830 | 100.0 | 54,071,353 | 100.0 | 1.89 |
| 福祉 | 9,146,656 | 32.0 | 29,115,394 | 53.8 | 3.18 |
| 生活インフラ・国土保全 | 5,763,529 | 20.2 | 5,984,660 | 11.1 | 1.04 |
| 環境衛生 | 3,168,863 | 11.1 | 5,726,890 | 10.6 | 1.81 |
| 総務 | 2,953,344 | 10.3 | 3,038,307 | 5.6 | 1.03 |
| 教育 | 3,275,732 | 11.5 | 3,436,287 | 6.4 | 1.05 |
| その他 | 4,270,706 | 14.9 | 6,769,815 | 12.5 | 1.59 |

目的別内訳を比べると、連結は国保や介護などの会計が加わるため普通会計に比べて福祉の割合が高くなっており、連結行政コスト全体の半分以上を占めています。

(3)市民1人あたりの行政コスト計算書

(単位:千円)

| 項目 | 普通会計 | | | 連結 | | |
|--------------|-----------|-----------|-----|-----------|-----------|-----|
| | 23年度 A | 22年度 B | A-B | 23年度 A | 22年度 B | A-B |
| 経常行政コスト | 356 | 347 | 9 | 674 | 667 | 7 |
| 経常収益 | 19 | 19 | 0 | 229 | 230 | ▲1 |
| (差引)純経常行政コスト | 337 | 328 | 9 | 445 | 437 | 8 |

(H24.3.31 住基人口: 80,277人)

前年度と比べ、普通会計・連結とも経常行政コストが増加していますが、これは人件費など人にかかるコストは前年度より減少したものの、子ども手当や子ども医療費及び国保・介護・後期高齢者等の社会保障給付増を要因とする移転支的コスト増加により、経常行政コスト全体では前年度よりも増となったことによります。このため、行政コストから受益者負担を控除した市民1人あたりの純経常行政コストについても、普通会計9千円増・連結8千円増となっています。

今後とも行政サービスの水準を維持しつつ、業務の更なる効率化や職員数削減に取り組みコスト縮減に努めます。併せて近隣自治体の料金設定なども参考にしながら適正な受益者負担の検討を進めます。

3. 純資産変動計算書

ポイント

- ・ 23年度の純資産は、前年度より普通会計12億円、連結22億円の増（正味資産の増）
- ・ 純経常行政コストの財源を一般財源や補助金等で確保できている

(1) 純資産変動計算書の概要及び普通会計・連結比較

(単位:千円)

| 項目 | 普通会計 A | 連結 B | 連単倍率 B/A |
|-----------------------|-------------------|--------------------|-------------|
| 期首(22年度末)純資産残高 | 90,239,810 | 141,987,832 | 1.57 |
| 純経常行政コスト | ▲ 27,042,644 | ▲ 35,709,199 | 1.32 |
| 一般財源 | 22,840,731 | 24,792,926 | 1.09 |
| 補助金等受入 | 5,447,108 | 13,326,777 | 2.45 |
| その他 | ▲ 73,893 | ▲ 203,537 | 2.75 |
| 期末(23年度末)純資産残高 | 91,411,112 | 144,194,799 | 1.58 |
| 1年間の増減額 | 1,171,302 | 2,206,967 | 1.88 |

純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部が1年間にどのような要因で変動したかを示すものです。

平成22年度末純資産残高は、純経常行政コストに費やされて減少したものの、地方税や地方交付税などの一般財源と国県補助金などの受入により、平成23年度末純資産残高は普通会計914億円(12億円増)・連結1,442億円(22億円増)といずれも増加しました。

これは、これまでの世代が負担した負債が、地方債の償還終了などで将来世代に引き継ぐ正味の資産に振り変わったことを表します。

なお、補助金等受入の連単倍率が2.45と大きくなっていますが、その大部分は国保や介護、後期高齢者等の社会保障給付に伴う国県補助金の受入によるものです。

4. 資金収支計算書

ポイント

- ・ 23年度の資金は前年度より普通会計6.1億円、連結2.3億円の増
- ・ 公共資産整備収支、投資・財務的収支の赤字を経常的収支の黒字で賄えており、資金不足の恐れはない

(1) 資金収支計算書の概要及び普通会計・連結比較

(単位:千円)

| 項目 | 普通会計 A | 連結 B | 連単倍率 B/A |
|---------------|-------------|-------------|-------------|
| 期首(22年度末)資金残高 | 682,867 | 4,216,880 | 6.18 |
| 23年度資金増減額 | 608,068 | 227,824 | 0.37 |
| 経常的収支 | 7,871,157 | 8,730,225 | 1.11 |
| 経常的支出 | 21,760,488 | 46,788,586 | 2.15 |
| 経常的収入 | 29,631,645 | 55,518,811 | 1.87 |
| 公共資産整備収支 | ▲ 1,715,381 | ▲ 1,547,622 | 0.90 |
| 公共資産整備支出 | 3,900,154 | 5,040,542 | 1.29 |
| 公共資産整備収入 | 2,184,773 | 3,492,920 | 1.60 |
| 投資・財務的収支 | ▲ 5,547,708 | ▲ 6,954,779 | 1.25 |
| 投資・財務的支出 | 6,708,997 | 8,763,130 | 1.31 |
| 投資・財務的収入 | 1,161,289 | 1,808,351 | 1.56 |
| (負担割合変更差額) | — | ▲ 71,735 | — |
| 期末(23年度末)資金残高 | 1,290,935 | 4,372,969 | 3.39 |

1年間の資金の増減を3つの区分で示したもので、経常的収支は行政サービスに伴う継続的な収支、公共資産整備収支は道路や公園などの資産形成に係る収支、投資・財務的収支は地方債の償還や出資・貸付金、基金等に係る収支を表します。

普通会計・連結とも経常的収支の資金余剰が他の資金不足を上回り、23年度末資金残高は普通会計13億円(6.1億円増)・連結44億円(2.3億円増)となりました。特に普通会計では、普通交付税+臨時財政対策債が前年比3億円の歳入減となりましたが、歳出で人件費が0.8億円、公債費が4.6億円それぞれ減少したことなどから、歳入減を上回る歳出減となりました。

このことから資金残高の連単倍率は22年度の6.18倍から23年度には3.39倍へと縮小しました。

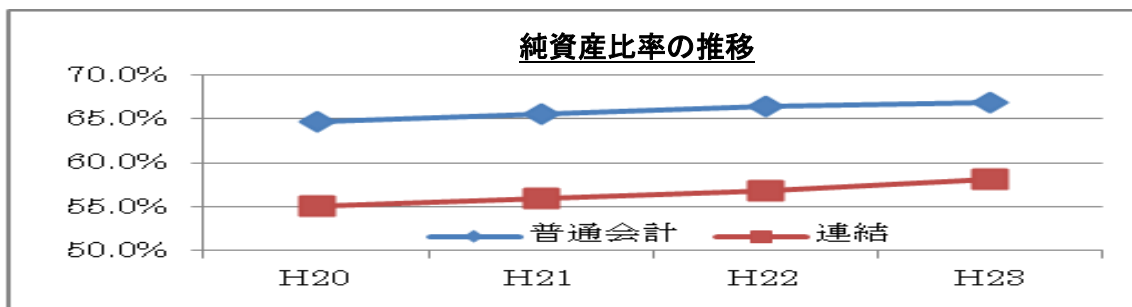
V 財務諸表の分析

【健全性】純資産比率

企業会計における自己資本比率に相当します。資産総額のうち返済義務のない純資産がどれくらいかを示し、比率が高いほど健全であると言えます。言い換えますと、これまでの世代が形成した資産の割合を表しています。普通会計・連結とも前年度より資産に占める純資産の割合が増加し、比率は改善しました。

(単位:千円)

| 項目 | 普通会計 | 連結 | 連単倍率 |
|--------------|-------------|-------------|------|
| 純資産:A | 91,411,112 | 144,194,799 | 1.58 |
| 資産総額:B | 136,625,820 | 248,291,803 | 1.82 |
| 純資産比率(A/B):C | 66.9% | 58.1% | 0.87 |
| 前年度比率:D | 66.4% | 56.8% | 0.86 |
| C-D | 0.5% | 1.3% | — |



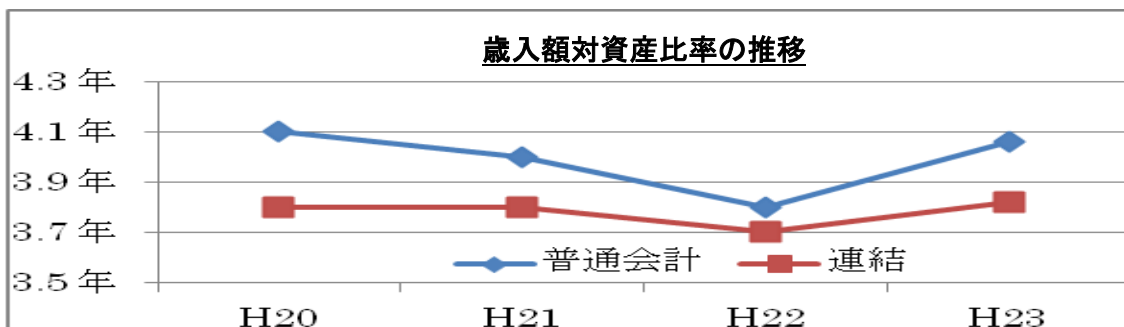
【資産形成規模】歳入額対資産比率

資産形成に何年分の歳入が充当されたかを示します。年数が多いほど社会資本整備が進んでいることを表しますが、維持管理経費の増加要因ともなります。連結の年数が少ないのは、国保など資産形成を行わない会計が加わるためです。国経済対策交付金や普通建設国庫補助金・起債が減少し、年数は増加しました。

(単位:千円)

| 項目 | 普通会計 | 連結 | 連単倍率 |
|-----------------|-------------|-------------|------|
| 歳入合計:A ※ | 33,660,574 | 65,036,962 | 1.93 |
| 資産合計:B | 136,625,820 | 248,291,803 | 1.82 |
| 歳入額対資産比率(B/A):C | 4.1年 | 3.8年 | 0.94 |
| 前年度比率:D | 3.8年 | 3.7年 | 0.97 |
| C-D | 0.3年 | 0.1年 | — |

※歳入合計は、資金収支計算書の収入合計に期首歳計現金残高を加える



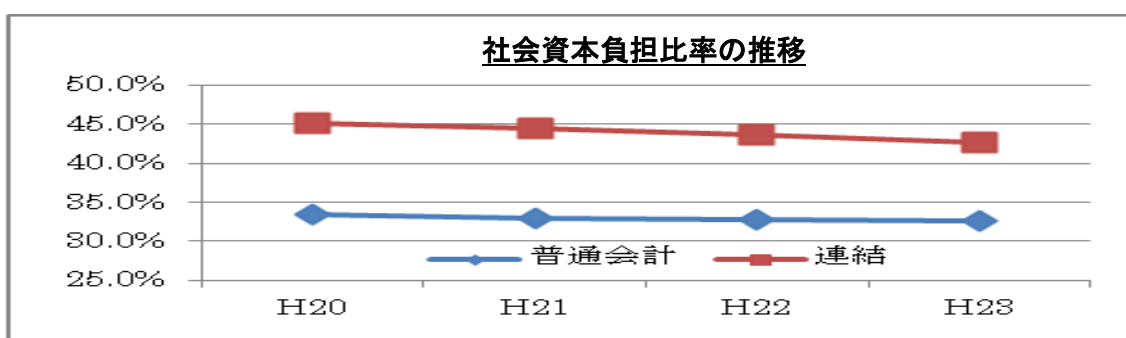
【世代間公平性】 将来世代の社会資本負担比率

これまでに形成された社会資本に対する将来世代の負担する割合を示し、比率が低いほど将来負担が低いことを表します。普通会計・連結とも地方債の償還が進み、将来世代による負担は前年度よりも減少しました。

(単位:千円)

| 項目 | 普通会計 | 連結 | 連単倍率 |
|----------------------|-------------|-------------|------|
| 公共資産合計:A | 117,581,372 | 224,196,695 | 1.91 |
| 地方債残高:B ※ | 38,311,179 | 95,624,554 | 2.50 |
| 将来世代の社会資本負担比率(B/A):C | 32.6% | 42.7% | 1.31 |
| 前年度比率:D | 32.7% | 43.6% | 1.33 |
| C-D | ▲0.1% | ▲0.9% | — |

※地方債残高には、固定負債・地方債のほかに流動負債・翌年度償還地方債と資産形成の財源となる長期未払金を含む

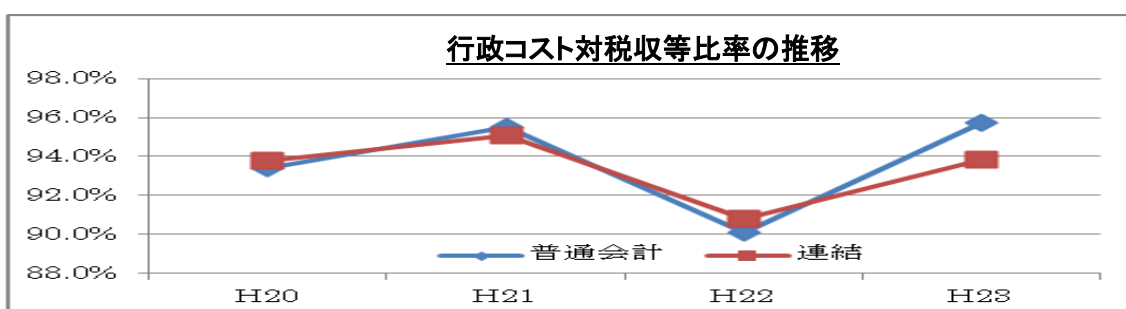


【弾力性】 行政コスト対税収等比率

経常行政コストのうち受益者負担で賄われなかった純経常行政コストに、税収等がどれだけ投入されたかを示します。比率が100%を上回ると、当年度の収入でコストを賄いきれず、資産取崩し又は将来負担によりコストを賄ったこととなります。100%を下回れば、資産形成又は将来負担の軽減に費やされたこととなります。国経済対策交付金など国庫支出金の歳入減及び社会保障給付の歳出増により、普通会計・連結とも比率は悪化しました。

(単位:千円)

| 項目 | 普通会計 | 連結 | 連単倍率 |
|--------------------|------------|------------|------|
| 純経常行政コスト:A | 27,042,644 | 35,709,199 | 1.32 |
| 税収等(一般財源+補助金等受入):B | 28,287,839 | 38,119,703 | 1.35 |
| 行政コスト対税収等比率(A/B):C | 95.6% | 93.7% | 0.98 |
| 前年度比率:D | 90.1% | 90.8% | 1.01 |
| C-D | 5.5% | 2.9% | — |



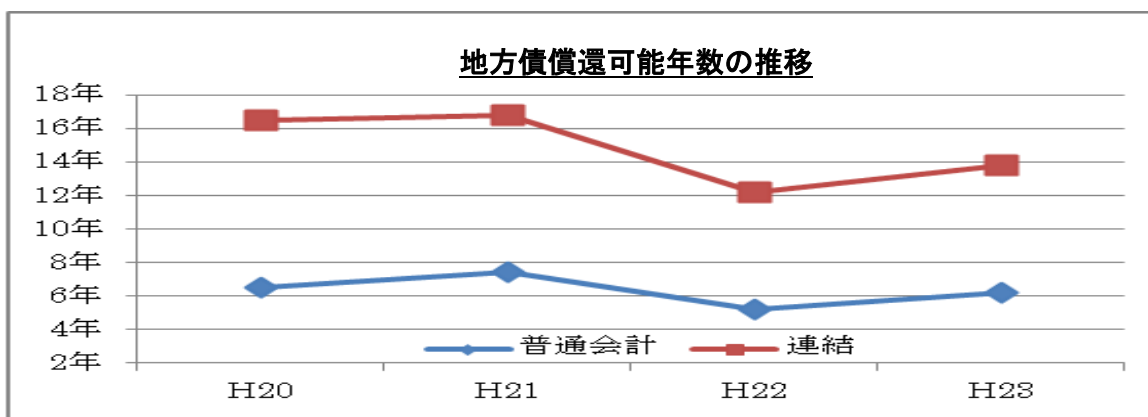
【債務返済能力】 地方債の償還可能年数

地方債を経常的に確保できる資金により何年間で返済できるかを示します。年数が少ないほど債務の返済能力が高いことを表しますが、連結では一般会計からの繰入金に依存している会計が多いため、普通会計よりも債務返済能力が低くなっています。地方債残高は普通会計・連結とも前年度より減少したものの、社会保障給付費の支出増に加え、地方交付税・臨時財政対策債及び主に国経済対策交付金の減による国県補助金等の減収により経常的収支額が減少したため、債務返済能力は悪化しました。

(単位:千円)

| 項目 | 普通 | 連結 | 連単倍率 |
|-------------------------|------------|------------|------|
| 地方債残高:A ※ | 38,311,179 | 95,624,554 | 2.50 |
| 経常的収支額:B | 7,871,157 | 8,730,225 | 1.11 |
| (控除)経常的収入・地方債発行額:C | 1,641,694 | 1,641,694 | 1.00 |
| (控除)経常的収入・基金取崩額:D | 24,215 | 133,478 | 5.51 |
| 地方債償還可能年数:A/(B-C-D):E:年 | 6.2年 | 13.7年 | 2.23 |
| 前年度比率:F | 5.2年 | 12.2年 | 2.35 |
| E-F | 1.0年 | 1.5年 | — |

※地方債残高には、固定負債・地方債のほかに流動負債・翌年度償還地方債と資産形成の財源となる長期未払金を含む



【効率性】行政コスト対公共資産比率

行政コスト対公共資産比率は資産利用の効率性を示すもので、資産を活用するためにどれだけのコストがかかっているのかを表すものです。生活インフラ・国土保全など多くの有形固定資産を保有する分野では、その資産規模に比べて比較的少ないコストで資産活用が可能で、比率は低くなる傾向にあります。逆に福祉など保有資産が少なく、資産を活用した行政サービスよりも社会保障給付等が中心となる分野では、比率は高くなる傾向にあります。

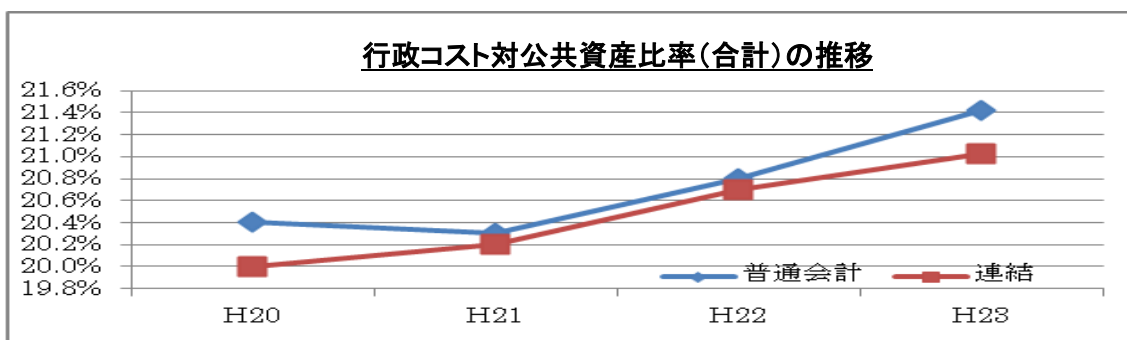
全体の比率は普通会計で0.6%、連結で0.3%前年より悪化していますが、普通会計では主に子ども手当や子ども医療費の給付増により、連結では国保、介護、後期高齢者の社会保障給付増により、福祉分野での経常行政コストがそれぞれ増加したことによるものです。

(単位:千円)

| 項目 | 経常行政 コスト:A ※ | 有形固定 資産:B | 行政コスト 対公共資産 比率 (A/B):C | 前年度 比率:D | C-D |
|-------------|-----------------|--------------|---------------------------------|-------------|-------|
| 普通会計 | | | | | |
| 生活インフラ・国土保全 | 4,352,974 | 62,361,454 | 7.0% | 6.3% | 0.7% |
| 教育 | 2,426,049 | 30,313,709 | 8.0% | 7.8% | 0.2% |
| 福祉 | 8,916,352 | 4,159,741 | 214.3% | 206.8% | 7.5% |
| 環境衛生 | 3,046,131 | 2,134,540 | 142.7% | 130.5% | 12.2% |
| 産業振興 | 1,281,651 | 6,588,601 | 19.5% | 17.2% | 2.3% |
| 消防 | 1,243,124 | 1,995,771 | 62.3% | 61.0% | 1.3% |
| 総務 | 2,645,229 | 9,796,665 | 27.0% | 32.9% | ▲5.9% |
| 合計 | 25,133,380 | 117,350,481 | 21.4% | 20.8% | 0.6% |
| 連結 | | | | | |
| 生活インフラ・国土保全 | 2,470,491 | 130,622,517 | 1.9% | 1.9% | 0.0% |
| 教育 | 2,570,472 | 31,362,869 | 8.2% | 8.1% | 0.1% |
| 福祉 | 28,885,090 | 4,159,741 | 694.4% | 666.0% | 28.4% |
| 環境衛生 | 4,503,677 | 29,581,786 | 15.2% | 15.1% | 0.1% |
| 産業振興 | 1,980,539 | 16,430,849 | 12.1% | 11.8% | 0.3% |
| 消防 | 1,243,124 | 1,995,771 | 62.3% | 61.0% | 1.3% |
| 総務 | 2,730,166 | 9,802,196 | 27.9% | 33.8% | ▲5.9% |
| 合計 | 47,078,464 | 223,955,891 | 21.0% | 20.7% | 0.3% |

※経常行政コストから減価償却費を除く

※議会、支払利息、回収不能見込計上額は、有形固定資産が僅少のため項目別表示なし



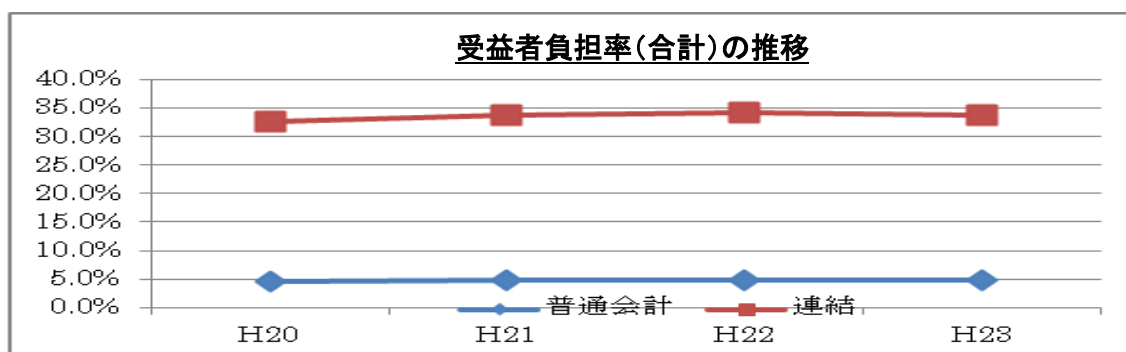
【自律性】受益者負担率

受益者負担率は、経常費用に充当された経常収益の比率を算定して、行政目的別に受益者負担の割合を表すものです。普通会計と比べ、連結では料金収入により支出を賄うことが基本となる会計が加わるため、比率が高くなる傾向にあります。普通会計全体・連結全体とも受益者負担率は前年度とほぼ同じ水準となりました。なお、消防の比率が3.3%改善しているのは、人件費支出減と太子町分担金収入増によるもので、連結で環境衛生の比率が8.2%悪化しているのは、播磨高原上水道事業で平成22年度に実施した起債任意繰上償還実施に伴う県企業庁からの負担金収入8億円が皆減したことによるものです。

(単位:千円)

| 項目 | 経常行政 コスト:A | 経常収益:B ※ | 受益者 負担率 (B/A):C | 前年度 比率:D | C-D |
|-------------|---------------|-------------|-----------------------|-------------|-------|
| 普通会計 | | | | | |
| 生活インフラ・国土保全 | 5,763,529 | 93,784 | 1.6% | 1.5% | 0.1% |
| 教育 | 3,275,732 | 243,972 | 7.4% | 8.1% | ▲0.7% |
| 福祉 | 9,146,656 | 527,975 | 5.8% | 5.8% | 0.0% |
| 環境衛生 | 3,168,863 | 12,635 | 0.4% | 0.4% | 0.0% |
| 産業振興 | 1,650,893 | 22,495 | 1.4% | 1.3% | 0.1% |
| 消防 | 1,397,943 | 385,030 | 27.5% | 24.2% | 3.3% |
| 総務 | 2,953,344 | 87,330 | 3.0% | 3.4% | ▲0.4% |
| その他 | 1,221,870 | 0 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 合計 | 28,578,830 | 1,373,221 | 4.8% | 4.9% | ▲0.1% |
| 連結 | | | | | |
| 生活インフラ・国土保全 | 5,984,660 | 1,567,008 | 26.2% | 26.4% | ▲0.2% |
| 教育 | 3,436,287 | 491,701 | 14.3% | 15.6% | ▲1.3% |
| 福祉 | 29,115,394 | 11,147,983 | 38.3% | 38.3% | 0.0% |
| 環境衛生 | 5,726,890 | 3,325,759 | 58.1% | 66.3% | ▲8.2% |
| 産業振興 | 2,676,967 | 1,181,646 | 44.1% | 42.8% | 1.3% |
| 消防 | 1,397,943 | 385,030 | 27.5% | 24.2% | 3.3% |
| 総務 | 3,038,307 | 100,062 | 3.3% | 3.3% | 0.0% |
| その他 | 2,694,905 | 0 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 合計 | 54,071,353 | 18,199,189 | 33.7% | 34.1% | ▲0.4% |

※経常収益から一般財源振替額を除く



【資産老朽度】資産老朽化比率(普通会計)

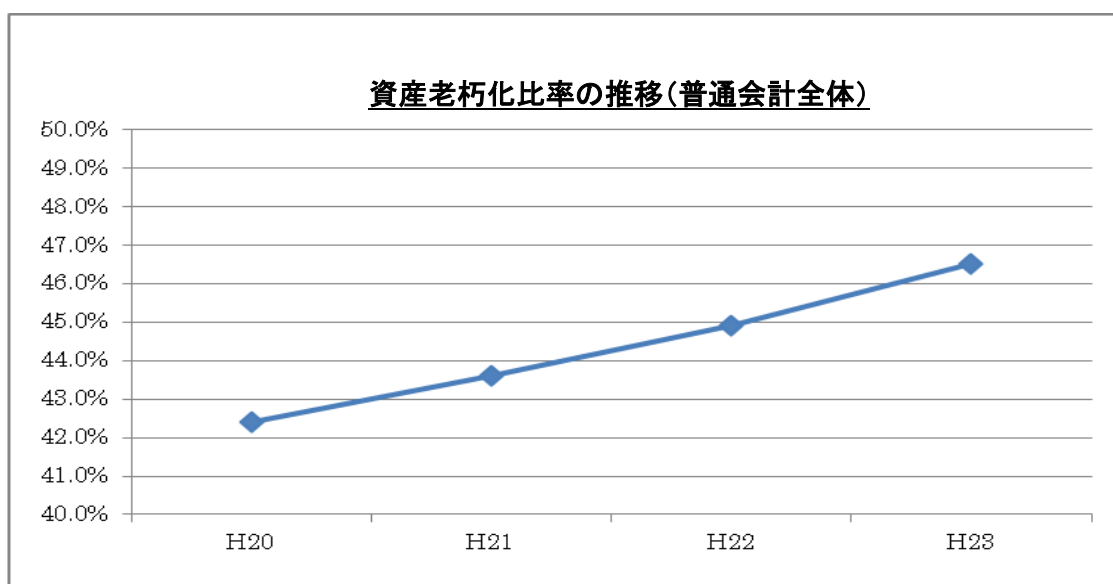
資産老朽化比率(土地を除く有形固定資産の減価償却累計額÷取得価額)は、耐用年数に比して資産の取得からどの程度経過しているかを行政目的別に示すものです。

普通会計全体の推移を見ると、資産の老朽化が進行していることがわかります。特に環境衛生、産業振興、福祉などの分野で高くなっており、更新時期を迎えつつある資産の存在する可能性があります。今後の更新に備えた財源確保に加え、公共資産の管理が重要になってきています。

(単位:千円)

| 項目 | 取得価額:A | 償却累計額:B | 資産老朽化比率 B/A |
|-------------|-------------|------------|----------------|
| 生活インフラ・国土保全 | 65,550,688 | 24,735,712 | 37.7% |
| 教育 | 43,244,563 | 17,296,508 | 40.0% |
| 福祉 | 7,916,024 | 5,129,022 | 64.8% |
| 環境衛生 | 6,376,961 | 5,149,307 | 80.7% |
| 産業振興 | 16,325,850 | 11,927,158 | 73.1% |
| 消防 | 3,555,755 | 2,046,753 | 57.6% |
| 総務 | 11,278,670 | 5,444,756 | 48.3% |
| 計 | 154,248,511 | 71,729,216 | 46.5% |

※取得価額、償却累計額が不明な会計・法人等があるため、普通会計のみ作成



たつの市普通会計貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：千円)

| 借 方 | | 貸 方 | |
|---------------|--------------------|---------------------|--------------------|
| [資産の部] | | [負債の部] | |
| 1 公共資産 | | 1 固定負債 | |
| (1) 有形固定資産 | | (1) 地方債 | 34,888,430 |
| ①生活インフラ・国土保全 | 62,361,454 | (2) 長期未払金 | |
| ②教育 | 30,313,709 | ①物件の購入等 | 0 |
| ③福祉 | 4,159,741 | ②債務保証又は損失補償 | 0 |
| ④環境衛生 | 2,134,540 | ③その他 | |
| ⑤産業振興 | 6,588,601 | 長期未払金計 | 0 |
| ⑥消防 | 1,995,771 | (3) 退職手当引当金 | 6,596,651 |
| ⑦総務 | 9,796,665 | (4) 損失補償等引当金 | 0 |
| 有形固定資産合計 | 117,350,481 | 固定負債合計 | 41,485,081 |
| (2) 売却可能資産 | 230,891 | | |
| 公共資産合計 | 117,581,372 | | |
| 2 投資等 | | 2 流動負債 | |
| (1) 投資及び出資金 | | (1) 翌年度償還予定地方債 | 3,422,749 |
| ①投資及び出資金 | 1,748,374 | (2) 短期借入金(翌年度繰上充用金) | 0 |
| ②投資損失引当金 | 0 | (3) 未払金 | 0 |
| 投資及び出資金計 | 1,748,374 | (4) 翌年度支払予定退職手当 | 0 |
| (2) 貸付金 | 596,683 | (5) 賞与引当金 | 306,878 |
| (3) 基金等 | | 流動負債合計 | 3,729,627 |
| ①退職手当目的基金 | 0 | | |
| ②その他特定目的基金 | 5,233,389 | 負債合計 | 45,214,708 |
| ③土地開発基金 | 1,286,564 | | |
| ④その他定額運用基金 | 0 | | |
| ⑤退職手当組合積立金 | 750,107 | | |
| 基金等計 | 7,270,060 | | |
| (4) 長期延滞債権 | 1,423,153 | [純資産の部] | |
| (5) 回収不能見込額 | △ 457,190 | 1 公共資産等整備国県補助金等 | 20,239,079 |
| 投資等合計 | 10,581,080 | 2 公共資産等整備一般財源等 | 83,176,272 |
| 3 流動資産 | | 3 その他一般財源等 | △ 11,996,820 |
| (1) 現金預金 | | 4 資産評価差額 | △ 7,419 |
| ①財政調整基金 | 4,715,321 | 純資産合計 | 91,411,112 |
| ②減債基金 | 2,221,119 | | |
| ③歳計現金 | 1,290,935 | | |
| 現金預金計 | 8,227,375 | | |
| (2) 未収金 | | | |
| ①地方税 | 210,032 | | |
| ②その他 | 25,963 | | |
| ③回収不能見込額 | △ 2 | | |
| 未収金計 | 235,993 | | |
| 流動資産合計 | 8,463,368 | | |
| 資産合計 | 136,625,820 | 負債・純資産合計 | 136,625,820 |

※1 他団体及び民間への支出金により形成された資産

| | | |
|--------------|------------|----|
| ①生活インフラ・国土保全 | 2,074,723 | 千円 |
| ②教育 | 111,280 | 千円 |
| ③福祉 | 796,708 | 千円 |
| ④環境衛生 | 667,626 | 千円 |
| ⑤産業振興 | 6,237,518 | 千円 |
| ⑥消防 | 84,363 | 千円 |
| ⑦総務 | 1,265,052 | 千円 |
| 計 | 11,237,270 | 千円 |

上の支出金に充当された財源

| | | |
|---------|------------|----|
| ①国県補助金等 | 567,541 | 千円 |
| ②地方債 | 1,223,197 | 千円 |
| ③一般財源等 | 9,446,532 | 千円 |
| 計 | 11,237,270 | 千円 |

※2 債務負担行為に関する情報

| | | |
|------------------|-----------|-----|
| ①物件の購入等 | | 千円 |
| ②債務保証又は損失補償 | | 千円 |
| (うち共同発行地方債に係るもの) | | 千円) |
| ③その他 | 1,293,731 | 千円 |

※3 地方債残高(翌年度償還予定額を含む)のうち26,190,690千円については、償還時に地方交付税の算定の基礎に含まれることが見込まれているものです。

※4 普通会計の将来負担に関する情報

| 項目 | 金額 | [内訳] | |
|------------------------|------------|------------------------------------|-------------------|
| | | 負債計上 【(翌年度償還予定)地方債・(長期)未払金・引当金】 | 注記 【契約債務・偶発債務】 |
| 普通会計の将来負担額 | 82,864,559 | 千円 | |
| [内訳] 普通会計地方債残高 | 38,311,179 | 千円 | |
| 債務負担行為支出予定額 | 0 | 千円 | 0 |
| 公営事業地方債負担見込額 | 34,647,007 | | 34,647,007 |
| 一部事務組合等地方債負担見込額 | 4,059,829 | | 4,059,829 |
| 退職手当負担見込額 | 5,846,544 | 千円 | |
| 第三セクター等債務負担見込額 | 0 | 千円 | 0 |
| 連結実質赤字額 | 0 | | 0 |
| 一部事務組合等実質赤字負担額 | 0 | | 0 |
| 基金等将来負担軽減資産 | 68,855,270 | | |
| [内訳] 地方債償還額等充当基金残高 | 10,600,617 | | |
| 地方債償還額等充当歳入見込額 | 6,032,400 | | |
| 地方債償還額等充当交付税見込額 | 52,222,253 | | |
| (差引)普通会計が将来負担すべき実質的な負債 | 14,009,289 | 千円 | |

※5 有形固定資産のうち、土地は34,831,186千円です。また、有形固定資産の減価償却累計額は71,729,216千円です。

たつの市普通会計行政コスト計算書

〔 自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日 〕

【経常行政コスト】

(単位：千円)

| | 総額 | (構成比率) | 生活インフラ・国土保全 | 教育 | 福祉 | 環境衛生 | 産業振興 | 消防 | 総務 | 議会 | 支払利息 | 回収不能見込計上額 | その他 | |
|-----------|--------------------|------------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|---------|------|
| 1 | (1)人件費 | 5,052,318 | 17.7% | 314,386 | 881,652 | 589,725 | 286,064 | 260,101 | 840,668 | 1,582,978 | 296,744 | | 0 | |
| | (2)退職手当引当金繰入等 | 227,168 | 0.8% | 17,887 | 40,380 | 32,743 | 18,806 | 15,953 | 49,141 | 50,173 | 2,085 | | 0 | |
| | (3)賞与引当金繰入額 | 306,878 | 1.1% | 24,163 | 54,548 | 44,232 | 25,405 | 21,552 | 66,384 | 67,777 | 2,817 | | 0 | |
| | 小計 | 5,586,364 | 19.5% | 356,436 | 976,580 | 666,700 | 330,275 | 297,606 | 956,193 | 1,700,928 | 301,646 | | 0 | |
| 2 | (1)物件費 | 3,624,533 | 12.7% | 133,687 | 1,149,187 | 605,277 | 595,338 | 207,790 | 228,670 | 691,131 | 13,453 | | 0 | |
| | (2)維持補修費 | 279,826 | 1.0% | 211,284 | 43,769 | 7,763 | 5,229 | 1,093 | 4,579 | 6,109 | 0 | | 0 | |
| | (3)減価償却費 | 3,445,450 | 12.1% | 1,410,555 | 849,683 | 230,304 | 122,732 | 369,242 | 154,819 | 308,115 | 0 | | 0 | |
| | 小計 | 7,349,809 | 25.7% | 1,755,526 | 2,042,639 | 843,344 | 723,299 | 578,125 | 388,068 | 1,005,355 | 13,453 | 0 | 0 | |
| 3 | (1)社会保障給付 | 5,252,769 | 18.4% | | 19,391 | 5,229,518 | 3,860 | | | | | | 0 | |
| | (2)補助金等 | 2,468,792 | 8.6% | 15,072 | 237,122 | 334,601 | 1,378,397 | 209,042 | 53,682 | 236,785 | 4,091 | | 0 | |
| | (3)他会計等への支出額 | 6,877,853 | 24.1% | 3,537,911 | 0 | 2,071,320 | 732,490 | 536,132 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |
| | (4)他団体への公共資産整備補助金等 | 140,563 | 0.5% | 98,584 | 0 | 1,173 | 542 | 29,988 | 0 | 10,276 | 0 | | 0 | |
| | 小計 | 14,739,977 | 51.6% | 3,651,567 | 256,513 | 7,636,612 | 2,115,289 | 775,162 | 53,682 | 247,061 | 4,091 | | 0 | |
| 4 | (1)支払利息 | 565,296 | 2.0% | | | | | | | | 565,296 | | 0 | |
| | (2)回収不能見込計上額 | 337,384 | 1.2% | | | | | | | | | 337,384 | 0 | |
| | (3)その他行政コスト | 0 | 0.0% | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 0 | |
| | 小計 | 902,680 | 3.2% | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 565,296 | 337,384 | 0 | |
| 経常行政コスト a | | | | 5,763,529 | 3,275,732 | 9,146,656 | 3,168,863 | 1,650,893 | 1,397,943 | 2,953,344 | 319,190 | 565,296 | 337,384 | 0 |
| (構成比率) | | | | 20.2% | 11.5% | 32.0% | 11.1% | 5.8% | 4.9% | 10.3% | 1.1% | 2.0% | 1.2% | 0.0% |

【経常収益】

| | | | | | | | | | | | | | 一般財源 振替額 | | |
|------------------|---------------|------------|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|-------------|---------|-----------|
| 1 | 使用料・手数料 b | 605,653 | | 89,895 | 123,284 | 147,810 | 12,635 | 7,162 | 3,978 | 71,080 | 0 | 0 | 0 | 149,809 | |
| 2 | 分担金・負担金・寄附金 c | 930,533 | | 3,889 | 120,688 | 380,165 | 0 | 15,333 | 381,052 | 16,250 | 0 | 0 | 0 | 13,156 | |
| 経常収益合計 (b+c) d | | 1,536,186 | | 93,784 | 243,972 | 527,975 | 12,635 | 22,495 | 385,030 | 87,330 | 0 | 0 | 0 | 162,965 | |
| d/a | | 5.4% | | 1.6% | 7.4% | 5.8% | 0.4% | 1.4% | 27.5% | 3.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| (差引)純経常行政コスト a-d | | 27,042,644 | | 5,669,745 | 3,031,760 | 8,618,681 | 3,156,228 | 1,628,398 | 1,012,913 | 2,866,014 | 319,190 | 565,296 | 337,384 | 0 | △ 162,965 |

たつの市普通会計純資産変動計算書

〔 自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日 〕

(単位:千円)

| | 純資産合計 | 公共資産等整備 国県補助金等 | 公共資産等整備 一般財源等 | その他 一般財源等 | 資産評価差額 |
|--------------------|--------------|-------------------|------------------|--------------|----------|
| 期首純資産残高 | 90,239,810 | 19,900,940 | 83,196,289 | △ 12,825,353 | △ 32,066 |
| 純経常行政コスト | △ 27,042,644 | | | △ 27,042,644 | |
| 一般財源 | | | | | |
| 地方税 | 10,773,929 | | | 10,773,929 | |
| 地方交付税 | 9,912,203 | | | 9,912,203 | |
| その他行政コスト充当財源 | 2,154,599 | | | 2,154,599 | |
| 補助金等受入 | 5,447,108 | 915,225 | | 4,531,883 | |
| 臨時損益 | | | | | |
| 災害復旧事業費 | △ 98,540 | | | △ 98,540 | |
| 公共資産除売却損益 | 0 | | | 0 | |
| 投資損失 | 0 | | | 0 | |
| ： | | | | | |
| 科目振替 | | | | | |
| 公共資産整備への財源投入 | | | 500,035 | △ 500,035 | |
| 公共資産処分による財源増 | | 0 | | 0 | |
| 貸付金・出資金等への財源投入 | | | 561,202 | △ 561,202 | |
| 貸付金・出資金等の回収等による財源増 | | 0 | △ 775,370 | 775,370 | 0 |
| 減価償却による財源増 | | △ 577,086 | △ 2,868,364 | 3,445,450 | |
| 地方債償還に伴う財源振替 | | | 2,562,480 | △ 2,562,480 | |
| 資産評価替えによる変動額 | 24,647 | | | | 24,647 |
| 無償受贈資産受入 | 0 | | | | |
| その他 | 0 | | | 0 | |
| 期末純資産残高 | 91,411,112 | 20,239,079 | 83,176,272 | △ 11,996,820 | △ 7,419 |

たつの市普通会計資金収支計算書

(自 平成23年4月 1日)
(至 平成24年3月31日)

(単位:千円)

| 1 経常的収支の部 | |
|--------------------|------------|
| 人件費 | 5,945,591 |
| 物件費 | 3,624,533 |
| 社会保障給付 | 5,252,769 |
| 補助金等 | 2,468,792 |
| 支払利息 | 565,296 |
| 他会計等への事務費等充当財源繰出支出 | 3,525,141 |
| その他支出 | 378,366 |
| 支出合計 | 21,760,488 |
| 地方税 | 10,700,959 |
| 地方交付税 | 9,912,203 |
| 国県補助金等 | 4,489,038 |
| 使用料・手数料 | 507,991 |
| 分担金・負担金・寄附金 | 894,014 |
| 諸収入 | 400,816 |
| 地方債発行額 | 1,641,694 |
| 基金取崩額 | 24,215 |
| その他収入 | 1,060,715 |
| 収入合計 | 29,631,645 |
| 経常的収支額 | 7,871,157 |

| 2 公共資産整備収支の部 | |
|-------------------|-------------|
| 公共資産整備支出 | 2,763,637 |
| 公共資産整備補助金等支出 | 69,386 |
| 他会計等への建設費充当財源繰出支出 | 1,067,131 |
| 支出合計 | 3,900,154 |
| 国県補助金等 | 958,070 |
| 地方債発行額 | 1,201,100 |
| 基金取崩額 | 5,476 |
| その他収入 | 20,127 |
| 収入合計 | 2,184,773 |
| 公共資産整備収支額 | △ 1,715,381 |

| 3 投資・財務的収支の部 | |
|-------------------|-------------|
| 投資及び出資金 | 100 |
| 貸付金 | 431,600 |
| 基金積立額 | 577,807 |
| 定額運用基金への繰出支出 | 6,406 |
| 他会計等への公債費充当財源繰出支出 | 2,336,981 |
| 地方債償還額 | 3,356,103 |
| 長期未払金支払支出 | 0 |
| 支出合計 | 6,708,997 |
| 国県補助金等 | 0 |
| 貸付金回収額 | 441,555 |
| 基金取崩額 | 0 |
| 地方債発行額 | 51,400 |
| 公共資産等売却収入 | 14,396 |
| その他収入 | 653,938 |
| 収入合計 | 1,161,289 |
| 投資・財務的収支額 | △ 5,547,708 |

| | |
|-------------|-----------|
| 翌年度繰上充用金増減額 | 0 |
| 当年度歳計現金増減額 | 608,068 |
| 期首歳計現金残高 | 682,867 |
| 期末歳計現金残高 | 1,290,935 |

※1 一時借入金に関する情報

- ① 資金収支計算書には一時借入金の増減は含まれていません。
- ② 平成23年度における一時借入金の借入限度額は1,000,000千円です。
- ③ 支払利息のうち、一時借入金利子は597千円です。

※2 基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

| | |
|------------|--------------|
| 収入総額 | 32,977,707 |
| 地方債発行額 | △ 2,894,194 |
| 財政調整基金等取崩額 | △ 14,426 |
| 支出総額 | △ 32,369,639 |
| 地方債償還額 | 3,921,399 |
| 財政調整基金等積立額 | 535,077 |
| 基礎的財政収支 | 2,155,924 |

たつの市連結貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位:千円)

| 借 方 | | 貸 方 | |
|---------------|-------------|------------------------|-------------|
| [資産の部] | | [負債の部] | |
| 1 公共資産 | | 1 固定負債 | |
| (1) 有形固定資産 | | (1) 地方公共団体 | |
| ①生活インフラ・国土保全 | 130,622,517 | ①普通会計地方債 | 34,888,430 |
| ②教育 | 31,362,869 | ②公営事業地方債 | 49,235,150 |
| ③福祉 | 4,159,741 | 地方公共団体計 | 84,123,580 |
| ④環境衛生 | 29,581,786 | (2) 関係団体 | |
| ⑤産業振興 | 16,430,849 | ①一部事務組合・広域連合地方債 | 4,586,333 |
| ⑥消防 | 1,995,771 | ②地方三公社長期借入金 | 0 |
| ⑦総務 | 9,802,196 | ③第三セクター等長期借入金 | 0 |
| ⑧収益事業 | 162 | 関係団体計 | 4,586,333 |
| ⑨その他 | 0 | (3) 長期未払金 | 0 |
| 有形固定資産合計 | 223,955,891 | (4) 引当金 | 6,877,741 |
| (2) 無形固定資産 | 9,913 | (うち退職手当等引当金) | 6,672,821 |
| (3) 売却可能資産 | 230,891 | (うちその他の引当金) | 204,920 |
| 公共資産合計 | 224,196,695 | (5) その他 | 0 |
| | | 固定負債合計 | 95,587,654 |
| 2 投資等 | | 2 流動負債 | |
| (1) 投資及び出資金 | 317,889 | (1) 翌年度償還予定額 | |
| (2) 貸付金 | 84,253 | ①地方公共団体 | 6,477,788 |
| (3) 基金等 | 7,899,911 | ②関係団体 | 436,853 |
| (4) 長期延滞債権 | 2,324,330 | 翌年度償還予定額計 | 6,914,641 |
| (5) その他 | 0 | (2) 短期借入金(翌年度繰上充用金を含む) | 798,457 |
| (6) 回収不能見込額 | △ 803,422 | (3) 未払金 | 318,244 |
| 投資等合計 | 9,822,961 | (4) 翌年度支払予定退職手当 | 0 |
| | | (5) 賞与引当金 | 308,252 |
| 3 流動資産 | | (6) その他 | 169,756 |
| (1) 資金 | 4,372,969 | 流動負債合計 | 8,509,350 |
| (2) 未収金 | 1,274,612 | | |
| (3) 販売用不動産 | 512,430 | 負債合計 | 104,097,004 |
| (4) その他 | 8,127,530 | | |
| (5) 回収不能見込額 | △ 15,394 | | |
| 流動資産合計 | 14,272,147 | | |
| | | 純資産合計 | 144,194,799 |
| 4 繰延勘定 | 0 | | |
| | | 負債及び純資産合計 | 248,291,803 |
| 資産合計 | 248,291,803 | | |

たつの市連結行政コスト計算書

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

【経常行政コスト】

(単位:千円)

| | 総 額 | (構成比率) | 生活インフラ・ 国土保全 | 教 育 | 福 祉 | 環 境 衛 生 | 産 業 振 興 | 消 防 | 総 務 | 議 会 | 支 払 利 息 | 回収不能 見込計上額 | その他 |
|-----------------|------------------------|------------|-----------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|---------|
| 1 | (1)人件費 | 7,309,164 | 13.5% | 461,300 | 928,169 | 753,765 | 1,701,790 | 665,369 | 840,668 | 1,660,713 | 297,390 | | 0 |
| | (2)退職手当等引当金繰入等 | 249,317 | 0.5% | 21,707 | 41,468 | 32,812 | 35,978 | 15,953 | 49,141 | 50,173 | 2,085 | | 0 |
| | (3)賞与引当金繰入額 | 308,252 | 0.6% | 24,163 | 55,174 | 44,232 | 25,779 | 21,552 | 66,384 | 68,151 | 2,817 | | 0 |
| | 小 計 | 7,866,733 | 14.5% | 507,170 | 1,024,811 | 830,809 | 1,763,547 | 702,874 | 956,193 | 1,779,037 | 302,292 | | 0 |
| 2 | (1)物件費 | 7,020,164 | 13.0% | 820,631 | 1,403,398 | 898,108 | 2,055,836 | 896,841 | 228,670 | 702,273 | 14,407 | | 0 |
| | (2)維持補修費 | 517,919 | 1.0% | 237,958 | 49,872 | 7,763 | 192,678 | 18,960 | 4,579 | 6,109 | 0 | | 0 |
| | (3)減価償却費 | 6,992,889 | 12.9% | 3,514,169 | 865,815 | 230,304 | 1,223,213 | 696,428 | 154,819 | 308,141 | 0 | | 0 |
| | 小 計 | 14,530,972 | 26.9% | 4,572,758 | 2,319,085 | 1,136,175 | 3,471,727 | 1,612,229 | 388,068 | 1,016,523 | 14,407 | 0 | 0 |
| 3 | (1)社会保障給付 | 23,687,410 | 43.8% | | 19,593 | 23,663,957 | 3,860 | | | | | | |
| | (2)補助金等 | 4,825,756 | 8.9% | 756,165 | 61,892 | 3,374,389 | 113,176 | 230,187 | 53,682 | 232,471 | 3,794 | | 0 |
| | (3)他会計等への支出額 | 0 | 0.0% | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| | (4)他団体への 公共資産整備補助金等 | 190,993 | 0.4% | 148,334 | 0 | 1,173 | 1,222 | 29,988 | 0 | 10,276 | 0 | | 0 |
| | 小 計 | 28,704,159 | 53.1% | 904,499 | 81,485 | 27,039,519 | 118,258 | 260,175 | 53,682 | 242,747 | 3,794 | | 0 |
| 4 | (1)支払利息 | 1,893,131 | 3.5% | | | | | | | | 1,893,131 | | |
| | (2)回収不能見込計上額 | 481,281 | 0.9% | | | | | | | | | 481,281 | |
| | (3)その他行政コスト | 595,077 | 1.1% | 233 | 10,906 | 108,891 | 373,358 | 101,689 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| | 小 計 | 2,969,489 | 5.5% | 233 | 10,906 | 108,891 | 373,358 | 101,689 | 0 | 0 | 0 | 1,893,131 | 481,281 |
| 経 常 行 政 コ ス ト a | 54,071,353 | | 5,984,660 | 3,436,287 | 29,115,394 | 5,726,890 | 2,676,967 | 1,397,943 | 3,038,307 | 320,493 | 1,893,131 | 481,281 | 0 |
| (構 成 比 率) | | | 11.1% | 6.4% | 53.8% | 10.6% | 5.0% | 2.6% | 5.6% | 0.6% | 3.5% | 0.9% | 0.0% |

【経常収益】

| | | | | | | | | | | | | | | 一般財源 振替額 |
|------------------|------------|--|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|---------|------|-------------|
| 1 使用料・手数料 | 834,400 | | 89,895 | 123,284 | 167,219 | 163,331 | 55,178 | 3,978 | 81,706 | 0 | 0 | | 0 | 149,809 |
| 2 分担金・負担金・寄附金 | 10,771,670 | | 37,003 | 120,688 | 10,104,901 | 80,678 | 15,836 | 381,052 | 18,356 | 0 | 0 | | 0 | 13,156 |
| 3 保 険 料 | 866,147 | | | | 866,147 | | | | | | | | | |
| 4 事 業 収 益 | 5,479,796 | | 1,413,952 | 229,507 | 0 | 2,739,580 | 1,096,757 | 0 | 0 | 0 | | | 0 | |
| 5 その他特定行政サービス収入 | 410,141 | | 26,158 | 18,222 | 9,716 | 342,170 | 13,875 | 0 | 0 | 0 | | | 0 | |
| 経 常 収 益 b | 18,362,154 | | 1,567,008 | 491,701 | 11,147,983 | 3,325,759 | 1,181,646 | 385,030 | 100,062 | 0 | 0 | 0 | 0 | 162,965 |
| b/a | 34.0% | | 26.2% | 14.3% | 38.3% | 58.1% | 44.1% | 27.5% | 3.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| (差引)純経常行政コスト a-b | 35,709,199 | | 4,417,652 | 2,944,586 | 17,967,411 | 2,401,131 | 1,495,321 | 1,012,913 | 2,938,245 | 320,493 | 1,893,131 | 481,281 | 0 | △ 162,965 |

たつの市連結純資産変動計算書

（自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日）

（単位：千円）

| | 純資産合計 |
|--------------|--------------|
| 期首純資産残高 | 141,987,832 |
| 純経常行政コスト | △ 35,709,199 |
| 一般財源 | |
| 地方税 | 12,706,701 |
| 地方交付税 | 9,912,203 |
| その他行政コスト充当財源 | 2,174,022 |
| 補助金等受入 | 13,326,777 |
| 臨時損益 | |
| 災害復旧事業費 | △ 98,540 |
| 公共資産除売却損益 | 0 |
| 投資損失 | 0 |
| 収益事業純損失 | 0 |
| その他 | 0 |
| 出資の受入・新規設立 | 0 |
| 資産評価替えによる変動額 | 24,647 |
| 無償受贈資産受入 | 0 |
| その他 | △ 129,644 |
| 翌年度繰上充用金増減額 | 0 |
| 期末純資産残高 | 144,194,799 |

たつの市連結資金収支計算書

〔自平成23年4月1日
至平成24年3月31日〕

(単位:千円)

| 1 経常的収支の部 | |
|-------------|------------|
| 人件費 | 8,208,982 |
| 物件費 | 6,984,078 |
| 社会保障給付 | 23,690,058 |
| 補助金等 | 4,850,537 |
| 支払利息 | 1,893,122 |
| その他支出 | 1,161,809 |
| 支出合計 | 46,788,586 |
| 地方税 | 13,352,751 |
| 地方交付税 | 9,912,203 |
| 国県補助金等 | 11,854,676 |
| 使用料・手数料 | 717,305 |
| 分担金・負担金・寄附金 | 10,733,247 |
| 保険料 | 0 |
| 事業収入 | 5,036,871 |
| 諸収入 | 701,846 |
| 地方債発行額 | 1,641,694 |
| 長期借入金借入額 | 0 |
| 短期借入金増加額 | 130,000 |
| 基金取崩額 | 133,478 |
| その他収入 | 1,304,740 |
| 収入合計 | 55,518,811 |
| 経常的収支額 | 8,730,225 |

| 2 公共資産整備収支の部 | |
|---------------------|------------|
| 公共資産整備支出 | 4,751,339 |
| 公共資産整備補助金等支出 | 289,203 |
| 地方独立行政法人公共資産整備支出 | 0 |
| 一部事務組合・広域連合公共資産整備支出 | 0 |
| 地方三公社公共資産整備支出 | 0 |
| 第三セクター等公共資産整備支出 | 0 |
| 支出合計 | 5,040,542 |
| 国県補助金等 | 1,504,392 |
| 地方債発行額 | 1,932,624 |
| 長期借入金借入額 | 0 |
| 基金取崩額 | 5,476 |
| その他収入 | 50,428 |
| 収入合計 | 3,492,920 |
| 公共資産整備収支額 | △1,547,622 |

| 3 投資・財務的収支の部 | |
|--------------|------------|
| 投資及び出資金 | 100 |
| 貸付金 | 431,600 |
| 基金積立額 | 873,785 |
| 定額運用基金への繰出支出 | 6,406 |
| 地方債償還額 | 6,913,436 |
| 長期借入金返済額 | 78,358 |
| 短期借入金減少額 | 0 |
| 収益事業純支出 | 0 |
| その他支出 | 459,445 |
| 支出合計 | 8,763,130 |
| 国県補助金等 | 0 |
| 貸付金回収額 | 441,555 |
| 基金取崩額 | 159,850 |
| 地方債発行額 | 51,400 |
| 長期借入金借入額 | 0 |
| 公共資産等売却収入 | 14,396 |
| 収益事業純収入 | 0 |
| その他収入 | 1,141,150 |
| 収入合計 | 1,808,351 |
| 投資・財務的収支額 | △6,954,779 |

| | |
|---------------|-----------|
| 翌年度繰上充用金増減額 | 0 |
| 当年度資金増減額 | 227,824 |
| 期首資金残高 | 4,216,880 |
| 経費負担割合変更に伴う差額 | △71,735 |
| 期末資金残高 | 4,372,969 |